

手毬と紙鳶

文學士 吉丸一昌 作曲

楠美恩三郎 作曲

一、トン／＼手毬の音の數。一、二に三つ四つ五つ、

六つと數へて七つになると、わたしは尋常一年生。

あらうれしいあ、うれしいな。

二、ブン／＼唸るは紙鳶の聲。天上高く見おろして、

畫紙鳶の達磨は力んで居れど、小さくなつては後しざり。

あら、をかしいあ、をかしいあ、

手毬と紙鳶

(幼年唱歌第一集) 土川五郎 振付

一、どん／＼手毬の音の數……躊躇して毬に目を注ぎつゝ右手にてつく事七回、終りに直立す

一、二に三つ四つ五つ左手を出し右食指にて左拇指を折りて押さへ次に食指を次に中指を折りて押さへ、かくして左五指を全く折る。